



教市立小川小学校

小川っ子だより

第2号

令和元年5月21日

お・・思いやりのある子

が・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

季節の移ろいを感じますー新年度になり2ヶ月を終えようとする今



連休明けからツバメの巣作りが盛んになり、運動場側のベランダにいくつもの巣が完成しています。また、田んぼには苗が植えられ、風が吹くたびに、苗が揺れ動いている今日この頃です。そして、学校の梨『愛宕』（今年で8年目）も、“花”から“実”になっています。学校の周りの目にする景色が確実に季節の移ろいを教えてくれています。早いもので5月の下旬になり、1学期



の折り返し地点を迎えています。

これから梅雨に入り、しばらくは天候不順で体調を崩しやすい時期を迎えることとなります。また、6月11日にはプール開きを迎え、水泳学習も始まる時期でもあります。健康管理には十分留意して、年度当初に立てた個人の目標に全ての児童が到達できるよう、教育活動を展開していきたいと思ひます。

授業参観を通して～子どもの成長の実感と理解を～

【ありがとうございました～授業参観・環境整備作業】

5月12日には、本年度2回目の授業参観が行われました。入学・進級して1ヶ月経ったお子様達の学びに向かう姿は、いかがでしたでしょうか。参観日は、子ども達にとっては、緊張感がありながらも、保護者の皆さまに参観してもらえうれしさもあるようです。保護者の皆様は、教室や廊下などの掲示物や子ども達の授業での様子を見られ、どのようなことを思い、どのようなことを感じられたでしょうか。思われたことや感じられたことをぜひ、ご家族で、また、お子様と話し合ってください。また、その思いもぜひ、学校に連絡帳などを通してでも構いませんので、お知らせください。



1校時の授業参観に続き、環境整備作業にも多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、保育園も、小学校も、見違えるほどきれいになりました。子ども達もこのきれいな環境の中、思いっきり活動を気持ちよく展開していくことと思ひます。



最後に、この環境整備作業に小川小学校の卒業生で、田万川中学校の

1. 2年生7名も参加してくれました。大変ありがたいことです。母校を思う心がうれしい限りです。

【子どもの心に寄り添うとー誉められたい・できるようになりたい】



『どんなことができるようになりたいですか』と、子ども達に尋ねました。すると、「賢くなりたいです」という言葉がすぐに返ってきました。『なるほど、賢くなるとどんないいことがありますか』と、再度尋ねました。即座に、【賢くなると】→「できることが増えるから」「どんどん誉められる」「誉められると、やる気がわいてきます」等と、自分自身の能力や意欲の高まりを実感できることや他者から承認されるとの賢くなることでのよさを子ども達は認識し、それを学校の授業で求めていることを改めて子どもとの会話を通して再認識しました。



したがって、子どもとかかわる学校であれば教職員が、家庭であれば保護者や親族の方が、子ども一人ひとりの今を理解し、子どもに積極的に関わることが一番大切なこととなります。そのうえで、大人が子どもの言動に「できる（成功体験）ことを認める」「できるよう、励ましたり、声かけをしたりする」ことが必要となります。どうぞ、家庭でも、学校でも、地域でも、子どものできる喜びの笑顔を大きくしていきましょう。